

単元指導計画 6年生 学習したことを生かして

「海の命」「今、君たちに伝えたいこと」「生きる」

【単元の目標】

○学習全体のめあてをもち、これまで身につけてきた国語の力を発揮して3編の作品を読み、自分なりの学習課題や学習方法を考え、取り組むことで、自ら学び自ら考える力を高める。

【単元の評価規準】

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語に対する知識・理解・技能
・3編の作品とその作者に興味をもち、身につけた国語の力を発揮して読もうとしている。	・登場人物の気持ちや場面の描写など、優れた表現を味わいながら読み、作品の主題を考えたり自分の考えや感想をもっている。 ・自分の考えを広げたり深めたりするために、必要な図書資料を選んで読んでいる。	・学習を進めたり自分の考えを確かめたり深めたりするなど、効果的な表現をもとに話し合い、自分の意見や考えを伝えようとしている。

時	ねらい	学習活動	評価規準・評価方法	指導・援助
1	これまでの学習とその成果を振り返る。3つの作品の題名に着目し、中心的な内容を予測したり、疑問に思うことを挙げたりしながら目的をもって通読し、作品に興味をもつことができる。	○3つの作品の題名を確認する。 3つの作品の内容から、共通点を見つけ学習テーマをつくろう。 ○「海の命」「今、君たちに伝えたいこと」「生きる」という題名から予想される中心的な内容を話し合う。 ○3つの作品を通読し、『生き方』を考えていくという共通課題をもつ。 お父さんやお母さんに、これからの「生き方」について自分の考えを伝える意見文を書こう。 ○ノートにまとめ自己評価	【関心・意欲・態度】異なる文種の3つの作品を学習していくことで、自分の力をさらに伸ばそうとする意欲をもっている。(発言・ノート)	これまでに身につけたことを生かして、課題を設定するために、それぞれの題名の中にある『命』『伝えたい』『生きる』というキーワードに着目させ、そこからイメージをふくらませるよう声をかける。
2	「海の命」のあらすじをとらえ、自分の生き方について考えていけるよう、学習計画を立てる。	○太一を通じた課題を作っていくことを確認する。 場面ごとに太一の生き方が分かる言葉を見つけよう。 ○1から6場面の太一の年齢と生き方を感じさせる言葉や叙述を探す。 ○ノートにまとめ自己評価	【読むこと】単なる感想や想像ではなく、主人公の太一の生き方を読み取ろうと叙述や文脈に基づいた確かな読み取りを心がけている。(発言・ノート)	自力で読み取れるよう、一行空きが大きな時の流れを表していること、また、太一が主語となる文章や会話文に着目するとよいことを話す。
3	「海の命」第1場面を読み、父と一緒に海に出ることが願っていた太一の気持ちを読み取ることができる。	○第1場面を読み、課題を確認する。 太一のおとうに対する思いを読み取ろう。 ○「ぼくは漁師になる。おとうといっしょに海に出るんだ。」という言葉に着目し、考えを交流する。 ○ノートにまとめ自己評価	【読むこと】太一の気持ちを表す「ぼくは」や、おとうの様子を表す「父は」という言葉に続く文章から太一の気持ちの根拠を読み取っている。(発言・ノート)	おとうの様子から、太一はこんなおとうをどう思っていたら、ということを考えるもとにする。

4	<p>「海の命」第2場面を読み、中学を卒業する年の夏、無理やり与吉じいさの弟子になった太一の気持ちを読み取ることができる。</p>	<p>○第2場面を読み、課題を確認する。</p> <p>太一が与吉じいさの弟子になったわけを読み取ろう。</p> <p>○与吉じいさの言葉から太一が与吉じいさから学んだことを考え、話し合う。</p> <p>○ノートにまとめ自己評価</p>	<p>【読むこと】</p> <p>父が死んだ瀬に毎日一本釣りに行っている与吉じいさの様子と言葉、なかなかつり糸を握らせてもらえなかった太一の気持ちを読み取っている。</p> <p>(発言・ノート)</p>	<p>父が死んだ瀬に毎日行ってつりをしている与吉じいさと、おとうの行動や言葉に共通点がないかということも考えて、太一の弟子入りのわけを考えるように話す。</p>
5	<p>「海の命」第3場面を読み、海の恵みを得て生きようとしている太一の心の変化を、以前の太一と比べて話し合い、読み取ることができる。</p>	<p>○第3場面を読み、課題を確認する。</p> <p>太一の海に対する思いを読み取ろう。</p> <p>○「太一、ここはおまえの海だ。」「心から感謝しております。」「おかげさまでぼくも海で生きられます。」に着目し、話し合う。</p> <p>○ノートにまとめ自己評価</p>	<p>【読むこと】</p> <p>「今の太一は自然な気持ちで」の文を、以前の太一と比べて考え、太一が海で生きていこうとする気持ちを読み取っている。</p> <p>(発言・ノート)</p>	<p>「海に生きる」とはどういうことか、「今の太一は」とあるが、その前の太一はどうだったのかを考えることによって、課題に近づくことを話す。</p>
6	<p>「海の命」第4場面を読み、太一と母の、海に対する思いの違いを考えることによって、成長した太一が父の海へもぐっていこうとする心情を読み取ることができる。</p>	<p>○第4場面を読み、課題を確認する。</p> <p>太一と母の、海に対する思いを読み取ろう。</p> <p>○母の会話や「母」で始まる文章の内容と、太一が感じる海への思いを比べながら話し合う。</p> <p>○ノートにまとめ自己評価</p>	<p>【読むこと】</p> <p>海は恐ろしいと思い、心配する母と、父の海に近づきたいと思う太一の気持ちを文章を根拠に比べて考えている。</p> <p>(発言・ノート)</p>	<p>「夜も眠れないよ」と心配している母の思いと、「興味をもてなかった」太一の瀬の主を探し求めている思いの違いに気づけるように、それぞれを比べてみるように話す。</p>
7 本時	<p>「海の命」第5場面を読み、悠然としたクエの様子とそれを見た太一の心の動きを考えることによって、クエに対する太一の心の変化を読み取ることができる。</p>	<p>○第5場面を読み、課題を確認する。</p> <p>クエに対する太一の心の変化を読み取ろう。</p> <p>○探し求めていたクエに出会ってから、そのクエに向かって「おとう、ここにおられたのですか」と言うまでの気持ちの動きを、「興奮しながら」「泣きそうに」「ふっとほほえみ」の言葉に着目して話し合う。</p> <p>○ノートにまとめ自己評価</p>	<p>【読むこと】</p> <p>長い間探し求めていた瀬の主であるクエに出会ったときの太一の気持ちと、そのクエをおとうとして考えるようになった太一の気持ちの変化を、文章を根拠に考えている。</p> <p>(発言・ノート)</p>	<p>太一が追い求めていた夢は、クエを殺すことをおさえたいうえで、なぜ太一は殺さずおとうと考えたのか、その迷う心が表れている文章を探そう話す。</p>
8	<p>「海の命」第6場面を読み、その後の太一の生き方を読み取ることができる。</p> <p>太一の「生き方」について、自分の言葉でまとめることができる。</p>	<p>○第6場面を読み、課題を確認する。</p> <p>太一がどんな生き方をしていたのか、考えよう。</p> <p>○本当の一人前の漁師とはどんな漁師のことか、文章から読み取り、話し合う。</p> <p>○太一の生き方をノートにまとめ自己評価</p>	<p>【読むこと】</p> <p>母の穏やかな様子、村一番の漁師であり続けた太一、海の命が続く訳をそれぞれ今までの学習も基に進んで考えている。</p> <p>(発言・ノート)</p>	<p>太一が年と共に成長していった様子を、今までのノートや仲間間の意見から考え、その後の太一がどうであったか、自分なりに予想をするように話す。</p>

9	<p>学習計画に基づいて「今、君たちに伝えたいこと」を読み、小澤征爾氏の活躍ぶりや人となりについて知る。</p>	<p>○課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">小澤さんはどんな人なのかCDやDVDを見て感想を發表しよう。</div> ○写真や活躍のDVDから自由に感想を發表する。 ○繰り返し出てくる言葉に着目し、小澤征爾氏の人となりを交流する。 ○ノートにまとめ自己評価</p>	<p>【関心・意欲・態度】 CD、DVD、文章それぞれから、小澤征爾氏に関心をもち、繰り返し出てくる言葉を教科書からたくさん探している。 (発言・ノート)</p>	<p>小澤氏の指揮をしている姿、曲を聴く中で、感じたことを自由に發表するよう声をかける。</p>
10	<p>「今、君たちに伝えたいこと」で自分の心に響いた言葉を見つけ、その理由を考える。</p>	<p>○文章のまとめ、繰り返しの言葉、文末表現に着目して読み取ることを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自分の心に響いた言葉を見つけ、わけを考えよう。</div> ○「好きなことに熱中」「感じる○○」「○○な心」「思いきりぶつかって」など、繰り返し出てくる言葉に重点を置き、わけにつなげる。 ○ノートにまとめ自己評価</p>	<p>【読むこと】 文章のまとめ、繰り返し出てくる言葉、文末表現などに着目して、小澤氏の考えをとりえている。 心に響いた小澤氏の言葉を見つけ、その理由を書いている。 (発言・ノート)</p>	<p>自分の経験と結びつけて心に響いた言葉はどれか、考えるように話す。 同じ単語が繰り返されていないか文章を注意深く読むように声をかける。</p>
11	<p>「生きる」の各連でどのような『生きる』姿が描かれているのか読み取る。</p>	<p>○課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">各連でどのような「生きる」姿が描かれているか読み取ろう。</div> ○「生きているということ／今生きているということ」の文頭の言葉をおさえ、それぞれの連に題名を付けるならどうなるか、話し合う。 ○ノートにまとめ自己評価</p>	<p>【読むこと】 5つの連それぞれの違った「生きる」を言葉にこだわって見つけ、仲間と進んで交流している。 (発言・ノート)</p>	<p>各連に題名を付けるときに、それぞれの連の中にある言葉を使って作るといいことを話す。</p>
12 13	<p>3つの作品に共通していることは何か仲間と話し合うことで考えを深め、自分の考えを文章にまとめることができる。</p>	<p>○学習のめあてと進め方を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">お父さんやお母さんに、これからの「生き方」について自分の考えを伝える意見文を書こう。</div> ○自分がこれからどんな生き方をしていきたいかを考え、文章にまとめる。 ○仲間の考えも聞いて、「私の生き方」としてまとめる。 ○自己評価</p>	<p>【書くこと】 自分の考えを書き、さらに仲間の意見も取り入れた、深まりのあるまとめを書いている。 (発言・ノート)</p>	<p>ただ感想を書くだけではなく、書く内容の題名として『将来の夢』『卒業に向けて』といった今の自分の状況から考えるように話す。</p>